



WHA GROUP NEWS

WHAグループニュース <http://www.wha-group.com>

vol.44

WHA: WESHAPETHEFUTUREキャンペーン

4ビジネスハブで戦略展開、23年成長目標達成に自信

WHAグループはこのほど、「WHA: WESHAPETHEFUTURE」の戦略計画を発表しました。ロジスティクス、工業開発、ユーティリティ&パワー、デジタルソリューションの4つのビジネスハブを活用し、タイでサステイナブルな未来を創造することを目的とするもので、2023年上半期には全ビジネスハブが好調な業績を達成しています。そのため、2023年の最終目標を達成するための戦略計画が今回開示されました。

グリーン・ロジスティクス、デジタル・ヘルステック、サーキュラー・エコノミーといった3つ基幹プロジェクトの成功を背景に、Mission to the Sunで掲げた2024年にテクノロジ企業になるという目標達成も確実視されています。

WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOのジャリーポーン・ジャルコーンサク氏は、「WHA: WESHAPETHEFUTURE」について、タイ経済のサステイナブルな成長という究極の目標に向け、国家の繁栄、人々のキャリアと収入の機会、生活の質(QOL)と社会の向上を創造するWHAグループのコミットメントを反映したものであると説明しました。同氏はさらに、WHAグループでは、4つのビジネスハブに構築されている強固なエコシステムを活用して革新的ビジネスや産業ソリューションを開発し、投資家や業界に対してビジネスチャンスを創出し、そのうえで、タイの競争力を高め、世界の投資家から「世界最高の投資先」として認められるよう努力すると強調します。外国直接投資(FDI)の誘致は、タイの経済効率とサステイナビリティを推進する上で極めて重要な役割を果たすとのこと。

「WHA: WESHAPETHEFUTURE」のコンセプトは、WHAグループが創業以来、長年にわたり実践してきたサステイナブルな開発に基づき、「The Ultimate Solution for Sustainable Growth」



The Ultimate Solution for Sustainable Growth

th(サステイナブルな成長のための究極のソリューション)となることを目指すグループの事業方針と一致します。達成のための枠組みとして、優れたコーポレート・ガバナンス、戦略的な人的資本、デジタル・トランスフォーメーション、天然資源保護を基盤として、企業及びすべてのステークホルダーのための長期的にサステイナブルな価値と成長を生み出します。

一方、WHAグループでは、9つのプロジェクトからなる「Mission to the Sun」を継続して推進し、2024年にテクノロジ企業となるべく、新たな製品やサービスの創出、組織や労働力の強化を図っています。現在、具体的な進展を見せている中核プロジェクトには、以下のグリーン物流、デジタル・ヘルステック、サーキュラー・エコノミーという3事業が含まれています。

●**グリーン・ロジスティクス** EVフリート、再生可能エネルギーを利用したEV充電ステーション、EV運行を管理するデジタルコントロール・タワー・ソリューションなどの導入により、エネルギー消費効率を高め、長期的にタイの物流コスト削減のため、物流事業におけるグリーン・テクノロジ活用を促進します。

●**デジタル・ヘルステック** サミティベート病院と共同で開発したデジタル・ヘルスケア・アプリ

ケーション「WHAbit」により幅広い健康サービスを提供します。いつでもどこからでも自分の健康記録に簡単にアクセスでき、医療専門家とのビデオ通話による診断・オンライン相談など総合的な健康管理ができます。

●**サーキュラー・エコノミー** 各事業拠点からグループのエコシステムにとり最も有益な資源の利用を促進し、作業プロセスにおける作業効率と生産性を向上させます。また、産業廃棄物を廃棄物発電所に供給するなど工場から排出される産業廃棄物を別の工場の原材料とすることで企業にとり採算がとれるビジネスチャンスにつながるアイデアを収集します。

2023年上半期、WHAグループは総売上高および利益シェアが56億バーツ(前年同期比27%増)、純利益が13億9,000万バーツ(同46%増)となるなど、素晴らしい業績を達成しました。この成長は、4つのビジネスハブすべてにわたる好調な業績を反映したもので、特に産業開発事業が予想を上回る業績を達成したことから、同社は2023年度末の目標値を年初設定から上方修正しました。

「下半期は経済動向が明るい方向へ向かうと予想され、2023年末の業績目標を達成できると確信しています。その一方で、2024年までにテクノロジ企業として、主要な事業分野での能力強化を継続するとともに、WHAグループの事業方針である「WHA: WESHAPETHEFUTURE」の究極のソリューション「キャンペーン」を推進し、人々、社会、タイ国の安定したサステイナブルな未来づくりの一翼を担ってまいります」とジャリーポーン氏は話しています。

●**ロジスティクス事業** EV、eコマース、新スカップ産業、長期的パートナーシップ、デジタルイノベーションの導入、グリーン・ロジ

スティクスやグリーン認証ビルディングを含む全ての事業におけるサステイナブル実践など、成長産業に焦点を当て、タイでの事業拡大を追求する一方、ベトナムでの新たな機会を模索し続けます。WHAロジスティクスは、2023年度末の新規プロジェクトと契約面積の目標を20万平方メートル、所有・管理資産の総面積を290万平方メートルに設定しました。

●**オフィス・ソリューション事業** パンコクの一等地でオフィスビル・プロジェクトを拡大し続けており、現在、5つのプロジェクトを展開中、総面積は12万平方メートル超となっています。サトーン通り BTS スラサック駅近くにある30000平方メートルのライフスタイルショップや、サトーン通りに建設中の6900平方メートルのメディアカールセンターなど、新しいタイプの商業施設建設にも着手しています。

WHAインダストリアル・デベロップメント社は中国大手自動車メーカー長安汽車の子会社であるChangan Autosoutheast Asiaと土地売買契約を締結しました。Changan Autosoutheast Asia社は東部経済回廊(EEC)にあるWHA工業団地イースタン・シーボード4(WHAESI4)に



CHANGAN | WHA LAND PURCHASE CONTRACT SIGNING CEREMONY @ WHA Eastern Seaboard Industrial Estate 4

輸出向けEV生産工場設計へ

輸出向けEV生産工場設計へ

WHAインダストリアル・デベロップメント社は、タイのEV製造工場を設立します。同契約は、2023年の重要な外国直接投資(FDI)の一つで、タイの卓越した潜在能力と総合的な投資誘致力を再認識するとともに、高度なインフラと環境管理システムを完備したWHAグループのスマート・エコ工業団地が、将来の産業をターゲットとする世界最高の工業団地のひとつであることを示すものです。今回の契約はタイが世界有数のEVハブとなるための新たな前進を意味します。

調印式には、在タイ中華人民共和国大使館経済商務参事官 Zhang Xiaoxiao氏が臨席され、WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOのジャリーポーン・ジャルコーンサク氏、Changan Autosoutheast Asia社長兼Changan Autosales(Thailand)社長 Shen Xinghua氏が契約書に署名しました。

Shen Xinghua氏は、「タイにEV製造工場を設立するにあたり、BOIの支援の下、WHAイースタン・シーボード工業団地4(WHAESI4)の土地売買契約を締結できたことを嬉しく思います。タイへの信頼とWHAESI4の戦略的立地、この地域をリードする工業団地開発者WHAグループの評判などを考慮し、決断に至りました。WHAESI4は、EECの中で抜群の立地に位置し、質の高い労働力、ワールドクラスのユーティリティやサービス、交通網やインフラが整っており、すべての条件を満たしています。さらにWHAグループは、EECにおける自動車産業クラスターの拡大においても重要な役割を果たしています。これらすべてが、私たちの投資決定を裏付ける重要な要素でした。」

第1フェーズでは8億6200万バーツ以上を投資し、BEV、PHEV(プラグインハイブリッド車)、REEV(航続距離延長型EV)などの右ハンドル車両用の製造工場を建設する予定です。まずはタイ市場に参入し、ASEAN諸国、オーストラリア、ニュージーランド、英国、南アフリカに輸出していきます。年間生産台数10万台で、2025年の操業開始を予定しています」と述べました。

一方、ジャリーポーン氏は「Changan Autosoutheast Asia社が、タイに新たなEV生産拠点を設立するにあたり、WHAグループを信頼し、パートナーとして選んでくれたことに感謝いたします。この契約締結は、タイ自動車産業の将来と経済発展を促進する上で、官民パートナーシップの大きな成果のひとつであると同時に、タイがハイテク産業の海外投資先としてアジアで最も望ましい国であることを証明するものであり、私たちを鼓舞しています。」

空の輸送手段で世界各地への商品輸出に適しており、アクセスも良好です。WHA スマート・エコ工業団地のコンセプトに基づき設計・開発されたWHA E S I E 4 は、世界トップクラスのインフラとユニティリティシステム、最先端のデジタル技術、通信、輸送、セキュリティ、環境制御、生産、廃水処理のインベションを備えており、バンナー通りのWHAタワー本社にある統合オペレーションセンター(UOC)で関連するすべての環境パラメータの結果をリアルタイムで監視することもできます。これは、「The Ultimate

Solution for Sustainable Growth) サステイナブルな成長のための究極のソリューション」を指すWHAグループの使命に沿ったものです。世界有数のEVメーカーの多くがタイでのEV生産に投資した結果、E E C 域内の自動車クラスターはここ数年拡大を続けています。現在、中国EVメーカーによるタイへの投資額は14億4000万米ドルを超えています。タイは東南アジアの主要なEV生産拠点となる原動力になっており、世界のEVハブとなる準備が整っています。これ

までのところ、タイ投資委員会(BOI)は16メーカーによる23件のEV生産工場プロジェクトを承認しています。2030年までに、EVはタイの自動車生産台数の30%、年間72万5000台を占めるようになりまます。「Changan Auto Southeast Asia」社のタイ進出は、世界を舞台としたEV産業におけるタイの存在感を際立たせる重要な動きとなります。Changan Auto Southeast Asia社はWHAグループのインフラ、マーケットポテンシャル、積極的なEV政策、パ

リューションに対応する統合物流とサプライチェーンに全幅の信頼を寄せています。WHAグループでは、EV及びEV部品の主要生産拠点として、EVエコシステムの構築、EV充電ステーション網拡大とEVバッテリー生産を支援し2030年までに自動車生産台数の30%をゼロ・エミッション車にするという政府の政策を支援していきまます。これは、2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロを達成するというWHAグループのコミットメントに合致するものです」とジャリーボン氏は強調します。

WHAグループのDNAと宿命

未来を形作るサステイナビリティ

サステナビリティとは、あらゆる産業分野が取り組むべき最重要項目であり、それはもはや選択肢の一つではなく、企業が生き残っていくためには必要不可欠な概念です。サステナビリティなくして、若い世代の未来は存在しません。WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOジャリーボン・ジャルコンサクン氏はWHAグループの進むべき道をこのように明確に示しています。

WHAグループはサステイナブルな成長のための開発こそが前進への道であるとして、未来を形作る一翼を担います。ジャリーボン氏は、キャリア創出と所得増加から生まれる繁栄が、社会全体の生活の質向上につながると考えています。これまでのWHAグループの使用、究極のソリューションにさらに「サステイナブルな成長のために」を付け加えました。WHAグループでは、環境の保全と回復を念頭に置いた事業運営に取り組んでいます。人工池を利用して廃水処理システムを開発し、植物や微生物を使って廃水処理を行います。このアイデアは、故ラーマ9世王陛下の王室プロジェクトによって採用されたものです。さらに、各工業団地は自然の水の流

れを妨げない設計であるため、WHA工業団地が洪水の問題に直面したことはありません。エネルギーに関しては、WHAグループはESG(環境・社会・ガバナンス)のコンセプトに沿った新規事業の開発を続けています。その一例が、RENEZ エネルギー取引プラットフォームによるP2Pエネルギー取引で、ブロックチェーン技術を利用して再生可能エネルギーの取引効率、および電力生産者と消費者間の取引の安全性を促進しています。WHAグループは2050年までに温室効果ガス排出量を正味ゼロにするという目標を発表しており、2021年よりカーボンニュートラルを達成しています。

WHAグループは、物流、工業団地開発、ユニティリティ事業、電力、デジタル・ソリューションを総合的に提供するタイのリーダー企業です。現在、タイには合計12の工業団地があり、1万ライ以上の土地を所有しています。工業団地は、世界水準の、最新のデジタル技術とユニティリティを備えたスマートECO工業団地として設計されています。また通信、輸送、セキュリティ、生産と廃水処理を制御する中央制御センター(UOC)がバンナー通りの



WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOジャリーボン・ジャルコンサクン氏

実践とサステイナブルな開発目標(国連SDGs)の双方を事業計画に採用しています。さらに、私たちはサステナビリティをより良い収入と世界を生み出す新たなビジネスチャンスととらえ、WHAグループの根幹DNAを成すものとしてとらえています。

WHAグループの顧客の80%以上は海外投資家であり、投資プロセスにESGを包括的に組み込んでいるため、WHAグループは多額の投資を国内に呼び込むことができます。さらにWHAグループは、2022年にタイ証券取引所(SET)から「サステナビリティ・エクセレンス・アワード」や「ビジネス・エクセレンス・アワード」などの賞を受賞し、サステイナブルな企業としての信用をますます高めています。最近では、S&Pグローバル社の「サステナビリティイニシアティブ・メンバー2023」から認証を受けました。また、高い競争力が評価され、グローバル・チャレンジャー・イノベーション分野でタイ首相賞も受賞しています。

私たちが、Mission To The Sunプログラムのもと、2024年までにWHAグループをテクノロジー企業として成長させることを目指しています。同プログラムでは、グリーン物流、サーキュラーエコノミー、ヘルステック、デジタル・アセットなどの技術

今日の成功がサステイナブルな未来を構想し、形作るのです。WHAグループのこれまでの物語と積極的なアプローチが未来を成功へと導いていくのです。

WHAグループ WHAメガロジスティクス センター定礎式 を開催

WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOのジャリーボン・ジャルコンサクン氏はこのほどWHAメガロジスティクスセンター バンナー・トラッド23KMの定礎式を行ないました。総建築面積4万6000平方メートルを超える新しいビルト・トゥ・スツツ型施設は、最先端のロジスティクス技術を備え、完全統合されたサービスとソリューションで顧客の需要に応えます。この日、WHAグループはハイテクソイル、アスファルトローラー、ペーパー(舗装機械)の大手サプライヤー ダイナパック・ロード・イクイップメント社(タイ)を正式に迎えました。同社はビルト・トゥ・スツツ型オフィス倉庫、作業場、トレーニングセンターとして利用する予定です。



式典に参列したWHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOのジャリーボン・ジャルコンサクン氏(中央左)、ダイナパック・ロード・イクイップメント(タイ)社アジア太平洋地域ゼネラルマネージャーIhab El Dessouky氏(左から3人目)、WHAコーポレーション社COO Pajongwit Pongsivapai氏(中央右)、WHAコーポレーション社ロジスティクスオペレーション担当副社長Bordin Harnvanich氏(左から3人目)、WHAコーポレーション社ビジネス開発ディレクターChairin Netipiraphong氏(左)、BSY Construction Public社COO Yothin Tharahirunchot氏(左から2人目)。

Prinx Chengshan 屋上設置型太陽光発電プロジェクト フェーズ1は商業運転開始、フェーズ2もPPPA契約締結

WHA ユニティリティ & パワー社(WHAUP)は、中国の大手タイヤ製造・販売会社Prinx Chengshan Tire (Thailand)社との屋上設置型太陽光発電プロジェクト第1フェーズ(電力容量19.44MW)の商業運転を2023年5月に開始しました。

また、第2フェーズ(電力容量4.80MW、屋上面積4万平方メートル)の電力購入契約(PPA)を締結、2024年までに完成する予定です。第1フェーズと第2フェーズの合計発電容量は24.24MWとなり、タイ最大の屋上設置型太陽光発電プロジェクトとなるとWHAUP CEO

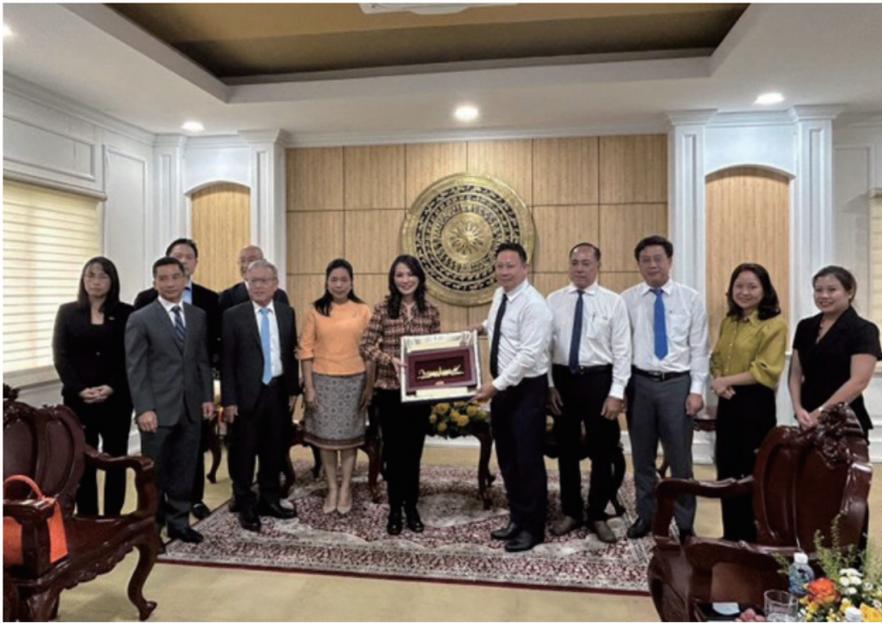


屋上設置型太陽光発電プロジェクト フェーズ2の電力購入契約(PPA)調印式。WHAコーポレーション社代表取締役会長兼グループCEOジャリーボン・ジャルコンサクン氏(写真中央左)、WHAユニティリティ&パワー社CEO Somkiat Masunthasuwun氏(左)、中国タイヤメーカーの浦林成山輪胎タイ法人Prinx Chengshan Tire (Thailand)社社長Zhang You Gan氏(中央右)、同副社長Wang Bing氏(右)。

Somkiat Masunthasuwun氏は発表しました。これによりCO2排出量は、25年間の契約期間中に44万5251トン削減されます。同氏は「この太陽光発電プロジェクトにより、WHAUPの出資比率に基づく総発電容量は703.19MWを超えることとなります。WHAUPは再生可能エネルギーのリーディング・プロバイダーとなり、革新的なエネルギー開発を行っていきます。今後も太陽光発電事業への投資を進め、技術開発とともに、業界のサステイナブルな成長に貢献してまいります」と述べました。2018年12月20日設立のPrinx Chengshan Tire (Thailand)社は、浦林成山輪胎の初の海外生産拠点で、東部経済回廊(EEC)のWHAイースタン・シーボード工業団地3(WHA ISIE3)に位置しています。最新鋭のタイヤ工場、グリーンで安全、高品質、高性能なPCRタイヤおよびTBRタイヤの研究開発、製造、販売に力を入れています。現在の年間生産能力はPCRタイヤ800万本、TBRタイヤ200万本となっています。Prinx Chengshanグループは、2018年12月20日設立のPrinx Chengshan Tire (Thailand)社が完成し、順調に稼働しています。WHAUP社との協力関係を継続し、グリーン開発パートナーシップを強化し、人と自然のための共同体をさらに促進してまいります。この屋上設置型太陽光発電プロジェクトは、長期的に両社に利益をもたらす、環境にも貢献するものです。第1フェーズでは、25年間の契約期間を通じてCO2排出量を35万7118トン削減。第2フェーズでは、CO2排出量を8万8133トン削減することで、地球温暖化と温室効果ガスの軽減に貢献します。

WHAグループ幹部 タイニン省人民委員会委員長を表敬訪問

在ホーチミン・タイ王国総領事館総領事 Wiraka Moodhitaporn 氏（写真左から6人目）は、WHA コーポレーション社代表取締役会長兼グループ CEO ジャリーポン・ジャルコンサクン氏（中央左）率いる WHA グループ幹部らとともに、タイニン省人民委員会委員長 Nguyen Thanh Ngoc 氏（中央右）を表敬訪問。タイニン省における WHA グループの事業展望と投資計画についての協議が行われました。



WHAインダストリアルゾーン1ーゲアン 第1回「Meet Thailand」会議に参加



「Meet Thailand」イベントに参加したWHAグループ代表団

ベトナム・タイ国交樹立（1976年～）47周年と戦略的パートナーシップ樹立（2013年～）10周年を記念してクアンチ省人民委員会は2023年8月3日～4日、外務省および在ベトナム・タイ大使館とともに「Meet Thailand」会議を同省で共催しました。

ベトナムでの WHA インダストリアルゾーン1ーゲアンの存在感は大変大きなものです。会期中には、駐ベトナム・タイ王国大使館特命全権大使 Nikorndej Balankura 氏が WHA グループの展示ブースを訪れました。

会議では、「再生可能エネルギーとハイテク農業」と「東西経済回廊（EWEC）のサプライチェーン統合促進」に関する議論が行われました。



WHAグループのブースに立ち寄り、駐ベトナム・タイ王国大使館特命全権大使 Nikorndej Balankura 氏

Koyu Textile Vietnam WHAインダストリアルゾーン1ーゲアンに新工場を建設

WHA インダストリアルゾーン1ーゲアンで行われた Koyu Textile Vietnam の新工場開所式で WHA インダストリアル・デベロップメント社副社長兼国際営業部長 Anchalee Prasertchand 氏（写真中央）と WHA インダストリアルゾーン1ーゲアン社社長 Nguyen Thi Bich Lien 氏（左から2人目）から祝辞を贈られた Koyu Textile Vietnam 社社長の鎌田正嗣氏（右から2人目）。新工場は日本の高い技術力に見合う環境に優しく、サステイナブルな生産システムを備えています。



Koyu Textile Vietnam の総投資額は約 2300 億ドンで、年 2240 万点のソックス、タイツを含む繊維製品を生産します。またサステイナブルな工業生産の開発、雇用創出、ベトナム従業員への高度な技術と専門的な管理手法の移転に積極的に取り組みます。

ショッピングセンターのグリーン革命 WHAソーラー、メガバンナーに 太陽光発電を導入

環境意識の高まる中、メガバンナー・ショッピングセンター（以下メガバンナー）はサステイナブルな開発の道標として登場しました。約 4000 ライに広がるこの巨大なショッピングセンターは、二酸化炭素排出量を削減し、地域社会に活力を与えるため、クリーンな代替エネルギーである太陽光発電の活用で目覚ましい進歩を遂げています。メガバンナーは10億バーツを投資し、利用者のためにサステイナブルでエコ・フレンドリーな環境を作るため、省エネルギーと緑地の拡張に乗り出しました。

クリーンな太陽エネルギーが主に

メガバンナーのサステナビリティへの取り組みは、WHA ユーティリティ&パワー社の WHA ソーラー・チームにより支えられています。この専門チームは、WHA ユーティリティ

ティ&パワー社による屋上設置型太陽光発電サービスを通じて、ショッピングセンターに太陽光発電を供給します。メガバンナーのプロジェクトでは、約 9.9 メガワット相当の発電容量で、建物13棟、総面積 6万2000平方メートルという広大な敷地の電力を担います。

設置後、太陽光発電によるクリーンな電力はメガバンナーの電気システムに直接供給され、照明システム、冷房機能、セキュリティ・システム、レストラン、映画館、学習塾などの配電されます。メガバンナー内のすべての利用者が、クリーンでサステイナブルなエネルギーを利用できるのです。

グリーンエネルギーの流れ

WHA ソーラーは、包括的な立地調査、エリア査定を行い、設計案を立案しプロジェクトがスタートしました。こうして完

成した包括的なクリーンエネルギーの提案書は、その後、メガバンナーに提出され、承認を受けた後、電力購入契約（PPA）が締結され、太陽光発電事業が正式にスタートしました。契約成立後、WHA ソーラーは関連する政府機関や当局の認可を受け、メガバンナーの送電網へ直接電力が供給されます。

発電能力や日々の発電量をモニタリングするため、WHA ソーラーが開発したアプリケーショングラフがシステムに付随し、太陽光発電に関するリアルタイムデータを提供します。

メンテナンスによる効率の維持

太陽光発電プロジェクトにおいて発電効率は最重要課題です。WHA ソーラーでは、定期的メンテナンス、システム点検、パネル清掃などのアフターサービスのための専門オペレーター・チームを有しています。この総合的なメンテナンスによ

り、電力システムのシームレスな運用が保証され、すべてがリアルタイム モニタリング プラットフォームを通じて実施されます。WHA グループが開発したこのプラットフォームは、メガ



バンナーのクリーン・ソーラー・エネルギーをはじめ様々なプロジェクトをモニターする中枢として機能しています。1200件を超えるプロジェクトと設備から総発電容量 180 メガワットを担い、さまざまな顧客

からのデータを統合。WHA ソーラーのオペレーション・チームは、この一元化されたプラットフォームを使って、発電量や光度値などさまざまなパラメーターを評価します。問題が発生した場合は、オペレーション・チームにアラートが送られ、迅速に問題解決がなされます。

環境へのメリット

メガバンナーの太陽光発電への取り組みは、大きな成果を得ました。屋上設置型太陽光発電システムは、向こう25年間で、ショッピングセンターの電気料金を10億4000万バーツ以上削減すると推定されます。この数値は二酸化炭素約 2105 億9200万トンの排出を削減することに相当します。なんと60万本もの木を植樹するのと同じ効果が得られ、二酸化炭素排出の影響を相殺することになるのです。

グリーン政策・産業への参加

メガバンナーの利用者は、太陽光発電を利用した商品やサービスを楽しむだけでなく、間接的に地球温暖化防止のための取り組みに参加したことになります。

ます。このサステナビリティへの共通のコミットメントは、環境に恩恵をもたらすだけでなく、責任ある企業としての評価を高めることにもつながります。

グリーンな未来を切り拓く、WHAソーラー

WHA ソーラーは、クリーンエネルギーのプロバイダーとして、サステイナブルで強靱な地域社会の創造に貢献していることに大きな誇りを持っています。WHA ソーラーは、環境

に配慮した事業に取り組むことで、ネットゼロエミッション達成への道を切り開いています。メガバンナーの太陽光発電の導入は、サステイナブルな未来の模範となるだけでなく、クリーンエネルギーへの移行と環境フットプリントの削減を目指す他の企業にとっても、よい刺激となります。サステナビリティへの道は、このような取り組みから始まり、我々を明るくグリーンな未来へと導いていくのです。

WHA GROUP ニュースダイジェスト

CSR

WHAグループ 屋上設置型太陽光発電設備を学校に寄贈



WHA コーポレーション社代表取締役会長兼グループのジャーリー・ポーン・ジャルコンサクンCEO、Somyos Anantaprayoon財団関係者、WHAグループ社員らの立ち会いのもと、Nikhom Sang Ton Eng School Rayong Province 9に対して屋上設置型太陽光発電設備と運動器具が納品しました。

今回の寄付はWHAグループが主催する“Shine Brighter with WHA Project”の一環であり、クリーンエネルギーを活用して学校の光熱費を削減することでより多くの資金を教育へ投入できるようにするものです。

“Shine Brighter with WHA Project”は、WHA工業団地周辺地域の市民の生活の質を向上させるため、WHAグループとともにタイ人学生の健康と教育を支援する目的で設立されたSomyos Anantaprayoon財団によって運営されています。

寄贈式では、教室外での創造的学習を生徒らが体験。主な活動内容としては、清潔で安全な飲料水の管理、クリーンエネルギー普及、消火訓練による事故対応、WeCycleプロジェクトの廃棄物管理、ソーシャルメディアの利用、セクシュアル・ハラスメントの防止とタバコの危険などがあります。

WHAグループでは、社会と経済の発展にはあらゆる分野での人材育成強化が必須との考えから、この活動を継続していきます。WHAグループが最も大切とするのは「人類の進歩」です。サステナブルな未来の創造を目指す“WHA: WE SHAPE THE FUTURE”キャンペーンは人材育成なくしては叶わないのです。



エコ・イノベーション・フォーラム2023 WHA工業団地が エコインダストリアルタウン賞を受賞



タイを代表する工業団地運営企業体であるWHAグループは、タイ工業団地公社 (IEAT)、タイ工業連盟 (Federation of Thai Industries)、水環境研究所 (Water and Environment Institute for Sustainability) の3者共催によるタイ最大級の環境イノベーション会議・展示会「エコ・イノベーション・フォーラム2023」において6つの工業団地がエコインダストリアルタウン賞を受賞する快挙を遂げました。この展示会は“MIND INSPIRE for Eco 2023”というテーマの下で開催されたもので、WHAグループの環境問題への取り組み、サステナブルな開発促進を目的とする革新的技術が評価されました。授賞式はBITEC (バンコク国際貿易展示場)で行われました。

受賞した工業団地は以下の通りです。

1. エコ・エクセレンス部門: WHA チョンプリ工業団地 1
2. エコ・エクセレンス部門: WHA イースタン工業団地 (マブタブット)
3. エコ・チャンピオン部門: WHA イースタン・シーボード工業団地 (ラヨーン)
4. エコ・チャンピオン部門: WHA チョンプリ工業団地 2
5. メンテナンスシステム部門: WHA イースタン・シーボード工業団地 2
6. メンテナンスシステム部門: WHA イースタン・シーボード工業団地 1

WHAグループでは長年、ビジネスの発展と環境保護に真剣に向き合ってきました。当社が掲げる「サステナブルな成長のための究極のソリューション」を通して、これからもサステナブルで繁栄する社会の創造に努めて参ります。

WHA イースタン・シーボード 工業団地2&3 「EIAモニタリング大賞2023」 で優秀賞受賞



WHA ESIE 3を代表してWHAインダストリアル・デベロップメント社COOのPajongwit Pongsivapai氏(写真左)が、天然資源・環境省事務次官Jatuporn Buruspat氏(右)より優秀賞を受け取りました。

WHA イースタン・シーボード工業団地2 (WHA ESIE 2) とWHA イースタン・シーボード工業団地3 (WHA ESIE 3) はこのほど、「環境影響評価 (EIA) モニタリング アワード2023」で優秀賞を受賞。EIA 2023年報告書に沿った同社の真摯な環境管理とサステナブルな事業開発への注力が評価されました。



WHA ESIE 2を代表して優秀賞を受け取るWHAインダストリアル・デベロップメント社工業団地事業部長のRakphol Kangnoy氏(左)。右はJatuporn Buruspat天然資源・環境省次官。

WHAグループ、IEATと共同で植樹を実施 Let's Zero Together Project

WHAコーポレーション社の役員と従業員はこのほど、タイ工業団地公社 (IEAT) がWHA イースタン・シーボード工業団地2 (WHA ESIE 2) で開催した植樹活動 “Let's Zero Together, Planting for a Sustainable Future” に参加しました。99ライの土地に合計1万4550本を植樹することで、温室効果ガス(二酸化炭素)を131トン削減することに貢献。今回の活動はネットゼロ・エミッションに取り組む当社の使命に沿ったものとなります。

WHAグループは、地域社会のニーズに対応することで、地域社会の発展に配慮してきました。教育、健康、スポーツ、安全、環境保護を促進するさまざまな活動を展開し支援することで、地域社会のウェルビーイングに貢献します。

